

指定管理施設事業評価票(平成30年度分)

1. 施設所管課

健康福祉 部 高齢福祉 課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市藤原福祉センター「ふじの郷」			
	所在地	日光市鬼怒川温泉大原2ー6			
指定管理者	名称	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会			
	代表者名	会長 高橋 務			
	住所	日光市今市511ー1			
指定期間		平成26年4月1日	～	平成31年3月31日	5年間
選定方法		公募		評価実施年	5 年間のうち5年目
施設設置目的		高齢者等に対し介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供し、もって高齢者福祉の増進及び地域福祉の推進を図る。			
主な実施事業		・地域福祉事業(ボランティアグループ等の拠点) ・居住事業			

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a	利用者数の増(延べ利用者数)	人	7,630	6,659	6,430	4,885	2,450	1,722	2,150	3,462	1,811	1,994
b	利用者満足度	%	80	78	70	71	70	76	70	83	80	89
c	経費の低減(前年度比)	%	5%減	3%減	5%減	3%増	5%減	43%減	5%減	11%減	5%減	8%減
d	収入の増加	円／人	月434万円	月299万円	月299万円	月200万円	30,000	22,020	30,000	17,616	30,000	2,936
e	利用しやすい環境づくり サービス向上		関係機関 との連携	相談すべ て対応	関係機関 との連携	相談すべ て対応	職員研修 実施	OJT実施	職員研修 実施	なし	職員研修 実施	なし
f	避難訓練の実施	回	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収入計 A		55,073,022	43,977,224	14,624,439	13,265,295	13,247,089
指定管理料		13,230,000	13,230,000	13,230,000	13,230,000	13,230,000
利用料収入 C		35,903,028	24,113,358	22,020	17,616	2,936
自主事業収入		0	22,509	17,251	17,679	14,153
その他		5,939,994	6,611,357	1,355,168	0	0
支出計 B		54,609,164	43,977,224	11,391,923	12,172,950	10,229,166
指定事業費		54,609,164	43,977,224	11,391,923	12,172,950	10,229,166
内人件費 D		34,773,099	25,686,548	5,282,630	5,675,031	4,307,623
内外部委託費 E		5,657,736	5,278,491	1,695,306	1,647,192	1,940,395
自主事業費		0	0	0	0	0
事業収支 A－B		463,858	0	3,232,516	1,092,345	3,017,923
人件費率 D／B		63.68%	58.41%	46.37%	46.62%	42.11%
外部委託比率 E／B		10.36%	12.00%	14.88%	13.53%	18.97%

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	平成28年度から通所介護を廃止したため、利用者、収入が大きく減少となった。
	居室は4月に2人の利用のみであり、それ以降利用者はいなかった(平成31年度より生活支援ハウスは廃止)。

サービス改善の状況

ボランティアや各種団体の福祉活動の場を提供し、活動支援を積極的に行った。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価
① サービスの 履行の 確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B	C
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	B
		外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B
		個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
		協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
② サービスの 質の評 価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	B
		事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	B
		利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	A	B
	事業運営	言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
		事業計画に即し、受託事業を実施している。	B	B
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B
	維持管理	事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
	環境配慮	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
③ 安定性	環境配慮	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
		要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	A	B
	利用状況	利用実績は、目標水準である。	B	B
	総括	「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】	B	B
	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	A	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	A	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	総括	「経費の収支等」に関する評価【4項目】	B	B
(指定管理者自己評価) 協定書、仕様書及び事業計画に基づき適切に管理運営。ボランティアや各種団体に福祉活動の場を提供するとともに活動の支援を積極的に行った。 (所管課評価) 地域住民の集いの場及びボランティア団体の活動支援など、地域福祉の拠点として推進が図られている。				
前年度総合評価		B(良好)	総合評価	B(良好)

※評価区分

評価基準	A(優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。	総合評価	A(優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。		B(良好) = A、C以外
	C(要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。		C(要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。			
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。			
総括評価	A(優良) = 評価項目のうち、A判定が80%以上		
	B(良好) = A、C以外		
	C(要改善) = 評価項目のうち、C判定が20%以上		